

J R 東日本発電取水総合対策十日町市民協議会会長

十日町市長 関口芳史様

回 答 書

J R 東日本発電取水総合対策十日町市民協議会からの「要望書」(平成
22年3月19日付) について、別紙のとおり回答いたします。

平成 22 年 3 月 23 日

東日本旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 清野 智 印

1. 飯山線・ほくほく線の活性化を図っていただきたい

(1) 飯山線及び他の接続路線に関して

- ① 十日町駅と長岡駅間の直通運行の増便と新潟駅への直通運行
- ② 十日町駅を市の玄関口としてふさわしい整備
- ③ 十日町駅と森宮野原駅間に交換施設（行き違い施設）の設置
- ④ 長野・飯山―十日町―長岡の間に、ハイブリッドシステム搭載の新型リゾートトレイン及びSL（蒸気機関車）の導入

(2) ほくほく線の乗り入れに関して

- ① ほくほく線を北陸新幹線の金沢延伸後においても、現状の運行形態を維持し、引き続き「上越線」及び「信越本線」への乗入れ継続

飯山線は北陸新幹線開業に伴い、北陸・上越新幹線を接続する回遊機能を担い、観光路線としての位置づけも高まります。また、ほくほく線と連携した首都圏への接続は今後も重要です。

- 飯山線を観光路線として、北陸新幹線開業を視野に入れながら、利用促進・沿線の活性化に地域とともに取り組みます。また、大地の芸術祭との連携を図ること、火焰型土器などに代表される縄文文化の香りを大切にすることなどのご意見を頂戴しており、これを参考にしながら、飯山線の各駅周辺に芸術作品の制作・展示を行うことなど、「文化・芸術に親しめる路線」としてのイメージを高め、観光誘客を図ります。
- 十日町駅は市の玄関口としてより相応しいものにすることを目指して、関係の皆様方とご相談しながら、バリアフリー化、駅東西方向のスムーズな移動など必要な改善に努めてまいります。また、縄文遺跡展示等の文化施設や観光情報発信機能も併せもった施設とすることを望むというご意見も伺っておりますので、市をはじめ関係の皆様とご相談させていただきながら、総合的に検討してまいります。具体的には市及び関係者の皆様とともに現在の自由通路の位置づけや人工地盤、情報発信機能、文化施設等駅周辺整備マスタープランを作成し検討してまいります。
- 十日町駅の整備については、これまでも雪まつりに合わせたコンコース・待合室美化やペレット・ストーブ導入に取り組みました。
- なお、文化や芸術に親しめる路線づくりの観点から、魚沼中条駅の駅名についてのご要望も伺っておりますので、関係の皆様とご相談させていただきながら検討してまいります。
- 飯山線にハイブリッドリゾート列車を導入し観光路線としてPRするとともに、長野駅での新幹線および特急「しなの」（長野と名古屋方面を運行）の接続等について関係者間で検討してまいります。なお、SLの導入のためには、設備面の課題を克服する必要があり、調査・検討を進めてまいります。
- 飯山線の利便性向上については、地域の皆様のご要望、ご利用状況、他線区との接続等を総合的に勘案して、十日町・長岡間の直通運転や、十日町駅における長野方面と川口方面との乗継利便性の向上、飯山線内の交換施設設置など、引き続き検討してまいります。
- なお、平成22年3月13日より、新たに朝通勤・通学時間帯における飯山線越後川口駅始発着列車1往復の長岡駅までの延長運転を実施しています。
- ほくほく線については、北越急行株式会社が輸送計画および列車運行の管理を行っていますが、今後もお客様のご利用状況等を総合的に勘案して、両社で協議の上、直通サービス等を検討してまいります。

2. 電源立地地域対策交付金対象地域への法改正に対する支援

(1) 法改正への支援及び改正までの暫定措置

電源立地地域対策交付金の費用に充てるため、国は一般電気事業者（電力会社）の販売電気に課税をしています。一般電気事業者（電力会社）と契約している全ての利用者（市民）は電気料金という形でこれを負担しています。このため、弊社など自営電力施設に対し同法を適用する法改正は、極めて困難と思われま

すが、弊社としては、地元地域と信濃川発電所との共生に向け、十日町市をはじめ関係の方々のご意見も承りながら、弊社として3. の地域振興策への支援など可能な施策を通じて地域の皆様に貢献させていただきたいと考えます。

3. 地域振興策への支援

(1) 交流人口の増加に資する取り組み及び支援

(2) 地域経済に関する貢献

(3) 地元農産物の販売イベント等地域のPR活動への支援

地域振興策として、交流人口の増加に向けた取り組みや雇用の場の創出に資する取り組み、地元農畜産物等の販売促進活動等を、関係の皆様のご意見を伺いご相談させていただきながら今後も引き続き行っていききたいと考えます。

- 雪まつり、大地の芸術祭等のイベントへの積極的な協賛・参加および首都圏等における宣伝、旅行商品の展開を行います。
- 信州デスティネーションキャンペーンにおける十日町地区の宣伝活動の強化および観光誘客を図ります。
- 現在、食材工場（数十人規模の雇用）の進出計画を考えておりますが、今後、市を中心とした関係の皆様とご相談させていただきながら具体的な検討を進めてまいります。
- 魚沼産コシヒカリを始めとした十日町地域の豊かな食材等の新聞や雑誌等を通じたPR、首都圏での駅ビル等での販売を支援してまいります。

また、これまでの取り組みとして

- 雪まつりや大地の芸術祭などのイベントへの積極的な協賛、参加および首都圏等における宣伝強化
- 新潟デスティネーションキャンペーンの実施
- 新潟（湯沢・十日町エリア）へ行こう！キャンペーンの実施
- 湯沢・十日町エリアでポケモンスタンプラリーを開催
- 地そばまつり、雪まつりに合わせた旅行商品展開
- 十日町ショップを首都圏7駅（東京、品川、新宿、上野、立川、大宮、千葉）の駅内・駅ビルで展開し、地元の農産物などを販売
- 十日町地域の食材を使用したオリジナル弁当を旅行商品に導入
- 各イベント開催中、十日町駅内に地元特産品等の臨時売店の設置
- ガーラ湯沢レストランで妻有ポーク使用メニューを販売 等

を行ってきました。引き続き、関係の皆様とご相談させていただき、弊社として実行できる施策を実現していききたいと考えます。

4. 地域・各種団体要望に関して

- (1) 鉄道、発電施設の存置に起因する弊害について、関係地域、各種団体と誠意をもって協議し、問題解決にあたる

関係の皆様とそれぞれ誠意を持って協議し、問題解決に努力してまいります。

5. その他

- (1) 信濃川の水源確保と流雪溝網の拡大への支援
- (2) 信濃川の水が首都圏の鉄道動力源になっていることを、利用者に周知するとともに、地域に開かれ、親しまれる発電所づくり

水源の涵養に資する信濃川沿川の森づくりに取り組みたいと考えます。

- 「市民協働の森」整備構想【十日町市民スキー場跡地周辺（約 10ha）】に、弊社の「信濃川沿川の森づくり」の運動として参画します。

流雪溝網拡大については、関係の皆様のお話を伺いたいと考えていますが、信濃川からの取水の場合、新たな水利権取得が必要となり、極めて難しいと予想されます。

信濃川の水が首都圏の鉄道動力源になっていることを、駅ポスター、車内吊りポスター等の鉄道広告媒体やテレビCM、新聞・雑誌広告等など、様々な広告媒体を使って首都圏等のお客さまにPRしていきます。

また、信濃川発電所が地域に開かれたものとなるよう、以下の共生策を検討してまいります。

- 宮中ダム周辺の設備改善（魚道見学施設、黄桜公園整備等）およびミオン中里と連携した新たな観光拠点整備
- JR千手発電所の一部を一般開放できる桜公園として整備および十日町駅から緑道を通じた一体の散策ルートとする新たな観光拠点整備